

第21回定期大会を開催！

7月12日、地本は、「大阪市立市民交流センターひがしよどがわ」において第21回定期大会を開催しました。大会は、山口副委員長の司会で始まり、議長に小谷代議員（大台両分会）、船出代議員（大仕業分会）を選出し議事が進められました。

地本執行委員会を代表して、小林委員長が「①多くの組合員とOB、そして来賓のみなさんに参加して頂いた。また、多くのメッセージも頂いている。皆さんに支えられ一年間の闘いが実現でき、今定期大会が開催されていることへのお礼と、JR総連を辞任した萩原さんへの激励、②いかなる政党や党派からの介入を許さない闘い、③戦争のできる国づくりを進めてきている。安倍政権の暴走をストップさせよう。③本人訴訟など、不当なボーナスカットに対する闘い、④職場で展開されている強権的な労務政策、人間性を否定し、社員を追い込むやり方は許すことはできない。職場から声を上げて行こう。⑤すべての闘いを『たしろ応援プロジェクト』に結集させよう。」と挨拶をしました。

そして、来賓として、高槻市の中浜市会議員、摂津平和人権センター用殿議長、新聞うずみ火の矢野代表、JR西労関西地域本部、JR貨物労組、JR東海労本部、JR東海労新幹線地本、JR東海労名古屋地本、地本OB会、鉄道ファミリーから連帯の挨拶を頂きました。

スローガン

- 一、差別 選別＝「専任V」、不当なボーナスカット攻撃をはじめとした、JR東海労排除 組織破壊攻撃を許さず、断固闘い抜こう。
- 一、安倍政権がもくろむあらゆる戦争政策に反対し、地域や市民団体をはじめとした連帯する仲間たちと共に、反戦 平和の闘いを推し進めよう。
- 一、職場からの闘いを軸に、常に考え、意識し、行動し、個々の強化と組織の強化をめざし、組織拡大を実現しよう。



質疑では、「ボーナスカット攻撃に対する労働委員会、本人訴訟の闘い」「安倍政権の暴走を許さない。『改憲阻止プロジェクト』を中心に労働者・市民・近畿地協の仲間との闘いの強化」「職場諸要求の獲得、効率化反対、偽装請負に対する闘いについて」「組織拡大の取り組み、わかりやすい情報の発行」「今後の組織体制について」「JR総連を退任した萩原さんへの激励」「外部からの批判、あらゆる政党、党派からの組織破壊攻撃を許さない闘い」「すべての闘いを『たしろ応援プロジェクト』の強化につなげる」など12名の代議員から発言がありました。代議員の発言を受けて、各部答弁と本部の木下書記長から感想と畑野書記長の総括答弁を受け、すべての闘いを『たしろ応援プロジェクト』につなげていくことを全体で確認しました。